

企画展 琳派 400 年記念「琳派イメージ」展

400th Anniversary of the Rinpa School: The "RINPA" Image

～ 11月23日（月・祝）まで

今年は琳派 400 年を記念して、京都各地でさまざまな展覧会や催しが行われています。当館の「琳派イメージ」展は、琳派のモチーフや様式がジャンルを超えて広がりを見せていることを、近現代の硯箱、茶碗、花瓶、着物など生活を彩る工芸品や、ポスターなどグラフィック作品を通してご紹介しています。こうした特徴は、当館が開館当時より、工芸、版画、グラフィック、ファッション、建築と様々なジャンルを対象に活動してきたことと深い関わりがあります。

さらに、11月2日（月）には展示替えを行い、あらたに富田溪仙の《風神雷神》（1917年）が登場しています（写真右）。京都国立近代美術館らしい切り口の「琳派展」に、ぜひ足をお運びください。



会場の様子

ほろ

次回企画展 文化勲章受章記念 志村ふくみ—母衣への回帰— 2016年2月2日（火）～3月21日（月・祝）



志村ふくみ《秋霞》1959年、当館蔵

現代日本の染織分野に独自の世界を展開する志村ふくみは、大正 13（1924）年に滋賀県近江八幡市に生まれ、母・小野豊の影響で、織物を始めました。昭和 32（1957）年の第 4 回日本伝統工芸展に初出品で入選し、その後も受賞を重ねます。そして、平成 2（1990）年には、絨織の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。

草木からの自然染料で染められた糸によって織りあげられた作品は、多くの人を魅了し、国際的にも高く評価されています。「民衆の知恵の結晶である絨の創作を通して、自然との共生という人間にとって根源的な価値観を思索し続ける芸術家」として、平成 26（2014）年に第 30 回京都賞（思想・芸術部門）を受賞し、平成 27（2015）年には文化勲章を受章しました。

本展では、代表作を中心に、初期の作品から最新作までを一室に展示することで、60 年におよぶ創作の歩みを紹介すると共に、志村ふくみの魅力とその芸術の核心に迫ります。

友の会特別解説会

日時：2016年2月10日（水）午後4時45分～6時

集合場所：当館1階ロビー

※当日は、開始5分前までにお集まりください。

募集人数：先着20名

解説者：平井啓修（当館研究員）

申し込み先：京都国立近代美術館 総務係

電話：075-761-4114（月曜から金曜まで、午前10時～午後5時）

メール：info@ma7.momak.go.jp

（件名は「友の会特別解説会申し込み」としてください。）

※お申込の際は、お名前・会員番号をお伝えください。

本展の関連イベントとして、講演会、対談、工房での染め体験などを企画しております。詳細は当館ホームページに随時アップするほか、次号の「友の会 NEWS」でもお知らせします。

イベント報告 友の会特別解説会を開催しました

■ 8月28日（金）「現代陶芸の鬼才 栗木達介」展

展覧会の担当者と共に会場を一周しながら、栗木達介の初期から晩年までの作品をじっくり鑑賞しました。なかでも、栗木の京都市立美術大学の卒業制作である《黒い柱のモニュメント》をはじめとするオブジェ作品、動き出しそうな形態を表現した《しろとぎんの作品》や《歩行する輪態》《歩行する鞍態》、そして型紙を用いて丁寧に模様が施された銀彩や銀紅彩、黄鱗紋のシリーズの作品群に関して、詳しく解説しました。



■ 11月5日（木）「琳派イメージ」展

近現代の作家たちが、光悦、宗達、光琳らの作品からどのように影響を受け、一方でどういった表現に自分のオリジナリティを出しているのかを、作品に即して解説しました。また、この展覧会を企画するにあたり、担当者の「琳派イメージ」をもとに出品作品を選定したこと、そして、それが来場者の方に分かりやすく伝わるよう、展示を工夫したことなど、企画担当者ならではのエピソードも紹介しました。ご参加の皆さんは、「この作品のどのあたりが琳派らしいと言えるだろうか」と問うように、一作品ずつ熱心に鑑賞されていました。



特別解説会の様子（上：栗木達介）展、下：「琳派イメージ」展

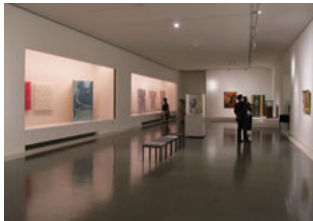
コレクション・ギャラリー 平成 27 年度 第 4 回 コレクション展

～ 12 月 6 日 (日) まで

展示室中央では、キュレトリアル・スタディズ 09 として、テキスタイル・デザインの分野における上野リチ (1893-1967) の創作活動を紹介しています。当館では 2009 年に「上野伊三郎+リチ コレクション展 ウィーンから京都へ、建築から工芸へ」を開催しました。この展覧会をきっかけに当館に新たにご寄贈いただいた作品群を中心に、大阪新美術館建設準備室の協力を得て、全 115 点の作品・関連資料を展示しています。



展示風景:キュレトリアル・スタディズ 09:上野リチのテキスタイル・デザイン～ウィーン工房から京都へ



工芸のセクションでは、当館で過去に開催した 2 回の「京都の工芸」展の出品作から、陶芸・染織・漆芸の優品 24 点をピックアップ。京都の工芸の多様性をご覧いただけます。



また、ドミニク・ゴンザレス＝フォルステル《無題(映画について)》(2013 年)を、第 3 回コレクション展に引き続き展示しています。これは、カーペット上に並べられた映画にまつわる書籍を、鑑賞者が自由に読むことができるという参加型の作品です。読書の秋を、美術館で過ごしてみたいかがでしよう。

展示風景:(上から)特集展示:京都の工芸、ドミニク・ゴンザレス＝フォルステル《無題(映画について)》

主なテーマ

キュレトリアル・スタディズ 09:
上野リチのテキスタイル・デザイン
～ウィーン工房から京都へ

特集展示:京都の工芸
マティスの絵画と版画
近代の水墨画
ぼくらの戦争体験
二科展の出品作

【予告】第 5 回コレクション展 2016 年 1 月 27 日 (水) ～ 2016 年 3 月 27 日 (日)

主なテーマ

キュレトリアル・スタディズ 10:『自然の鉛筆』と MoMAK 写真コレクション (仮題) / 冬の日本画 / 「用の美」を想う一民藝の作家たち、など

国立美術館カレンダー 2016 販売中!

国立美術館 5 館の所蔵作品等のうち、100 点以上の作品から、月ごとにお気に入りの作品をお選びいただき、オリジナルカレンダーをオーダーメイドできます。ご自宅用はもちろん、プレゼントにも最適です。

当館の所蔵品からは、アンリ・マティス《鏡の前の青いドレス》、上村松園《舞仕度》、長谷川三郎《蝶の軌跡》、土田麦僊《大原女》、富本憲吉《色絵飾筥》などをお選びいただけます。

また、当館が選んだ作品を掲載したカレンダーは、1 階ミュージアムショップで販売しています。

* ご注文、詳細はこちらから→ <https://www.comody.jp/nma/>



壁掛けタイプ (2,900 円 (税込))



卓上タイプ (2,500 円 (税込))

◆ 全館休館のお知らせ ◆

2015 年 12 月 7 日 (月) ～ 2016 年 1 月 26 日 (火)

日頃より、当館にご来館いただきありがとうございます。当館は 2015 年 12 月 7 日 (月) から 2016 年 1 月 26 日 (火) まで、館内改修工事のため全館休館します。

休館に伴う友の会有効期限の延長や、会員費の返金はありません。会員の皆さまには大変ご迷惑おかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、休館期間中、国立国際美術館 (大阪・中之島) では、当館友の会会員証のご提示で、企画展を初回無料でご観覧いただけますので、ぜひご活用ください。

* クレオパトラとエジプトの王妃展: 12 月 27 日 (日) まで
* エッケ・ホモ 現代の人間像を見よ:

2016 年 1 月 16 日 (土) ～ 3 月 21 日 (月・祝) まで

友の会事務局一同

京都国立近代美術館賛助会員・一般会員
当館は下記、賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。

